

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和8年度 第1回入間市高齢者福祉審議会
開 催 日 時	令和8年5月18日(月) 午前10時00分 開会・午前11時30分 閉会
開 催 場 所	市役所 B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	小池 佐智子
出席委員(者)氏名	小池 佐智子、森谷 秀一、大村 清、高山 京子、吉田 美佐子、 幡野 敏彦、山下 恵久子、松本 より子、宮澤 聖二
欠席委員(者)氏名	東 一成、遠藤 学、瀧澤 啓次、青柳 貴久、森本 剛、今井 英雄
説明者の職氏名	高齢者支援課 副主幹 西澤 響子 主 査 杉山 美緒 介護保険課 副主幹 中野 太智
会 議 次 第 (公 開)	1 開会 2 会長挨拶 3 事務局並びに関係課職員紹介 4 議題 (1) 入間市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等結果報告について (2) 入間市介護人材実態調査の集計結果について (3) 入間市認知症アンケート調査報告について 5 その他 6 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	資料1 入間市高齢者等実態調査報告書 資料2 入間市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 課題シート 資料3 入間市介護人材実態調査結果報告書 資料4 入間市認知症アンケート調査報告書
事務局職員職氏名	【福祉部】部長 栗原 康友、次長 小笠原 昌平 【福祉部高齢者支援課】課長 井ヶ田 剛、副主幹 西澤 響子、 主査 杉山 美緒、主事 高橋 侑大、主事 武井 陽菜 【健康推進部】次長 徳山 雅美 【健康推進部介護保険課】課長 町田 秀紀、副主幹 中野 太智
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

■審議会の会議録に署名する委員については、大村 清委員を指名した。

■ 議 題

(1) 入間市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等結果報告について

株式会社名豊（当該調査の集計・分析業務受託業者）及び事務局より、資料1、資料2に基づき説明後、質疑応答を行った。

(2) 入間市介護人材実態調査の集計結果について

事務局より、資料3に基づき説明後、質疑応答を行った。

(3) 入間市認知症アンケート調査報告について

事務局より、資料4に基づき説明後、質疑応答を行った。

(4) その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
議長	議題(1)入間市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等結果報告について事務局から説明願う。
高齢者支援課主査	令和7年度第5回審議会において、ニーズ調査集計結果の速報に関して報告したが、確定版の報告書が完成したため、その内容を本調査の業務を請け負い、また引き続き今年度の計画策定業務に関わる支援を行う株式会社名豊より報告する。
株式会社名豊	資料1 入間市高齢者等実態調査報告書 資料2 入間市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画課題シートに沿って説明
議長	今後計画を作っていくにあたり、資料2に記載の3つの基本目標に沿って検討を進めるという理解でよろしいか。
高齢者支援課主査	次期計画の策定にあたり、現計画の目標や庁内の関連する計画との整合性を図りながら、次期計画の目標についても検討を進めていく。
議長	他に事務局からの説明に意見や質問があるか。
宮澤委員	資料1から資料4について、これらの資料をホームページ等で公開あるいはパブリックコメントの形式で市民に意見を募ることは行わない、という前提でよろしいか。
高齢者支援課主査	計画案がまとまった段階で、市民の皆様から広くご意見を募る予定である。また、調査の結果については、ホームページに公開し市民の皆様が見られる状態にする。
宮澤委員	資料をホームページに掲載するにあたっては、書かれている内容に不明瞭な表現や誤字がないようにすべきである。 ページを追って順番に見ていくと、資料1について、英語の表現を日本語にすべき。資料1の2ページ目、最下段の「フレイル対策」について、市

発 言 者	発 言 内 容
	<p>民が読んだ際に「フレイル」という言葉を認識できるか疑問がある。「フレイル（虚弱）」との記載は、その通りではあるが、単に用語を併記するだけでなく、健康状態の推移や、元気な状態から要介護認定状態へ至るといった流れが伝わるような記述をしていただきたい。</p> <p>次に、５ページ目最下段の「⑧認知症施策・権利擁護制度」の課題の記載について、現状の内容に加えタイムリーな話題を掲載したらどうか。現在国において成年後見制度の見直しに関する議論が進められている。国で議論されている制度改正の動向や、それに伴う新たな取り組みについて、注釈や補足情報を加えてもいいのではないかと感じる。</p> <p>次に、３６ページの「問５－２：自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」という設問について、デジタル化が進む現代に電話帳を前提としたような設問が適切なのか疑問を感じる。</p> <p>次に、８０・９４ページのグラフが欠落しているため掲載するように。</p> <p>最後に、１１０ページ記載の「IADL（手段的自立度）」について、「老研式活動能力指標」と記載されているが、この専門用語は非常に奥が深く、理解するにはあまりに難解だったため、標記の仕方を考える必要があるのではないかと感じた。</p>
高齢者支援課主査	結果を市のホームページに載せる際には、難しい単語について、注釈や表現を検討する。
議長	他にあるか。
森谷副会長	<p>前回のニーズ調査との比較をしたうえでの傾向分析に加え、現行の計画を実行している中で効果が調査結果のどの部分で読み取れるか分析していただきたい。その分析をしたうえで現行の計画の成果をまとめていただきたい。</p>
高齢者支援課主査	<p>前回の計画を立てる際のニーズ調査と、今回のニーズ調査結果の比較は大事だと市の方でも認識している。前回とのニーズ調査を比較した評価結果というのは、次期計画に組み込んでいけるように考えていく。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>他に意見はあるか。なければ２点目に入らせていただく。</p> <p>次に２点目、入間市介護人材実態調査結果報告について議題とする。事務局から説明願う。</p>
介護保険課副主幹 議長	<p>資料３入間市介護人材実態調査結果報告書に沿って説明</p> <p>何か質問等はあるか。</p> <p>今後の方向性の中で、（２）の人材確保・定着に向けた取組のところは、各事業所人手不足があって、苦勞されるところだが、市民の方へは事務局として、何か考えはあるのか。</p>
介護保険課副主幹	<p>今年度から市が主催となって初任者研修を始める予定である。この初任者研修は、介護職がどういったものかということを市民に知ってもらうための研修であり、職場体験なども考えている。介護は厳しい、きついというイメージが先行している部分があると思われる。市としては広く市民の方に実態を知っていただき、選択肢として介護職を選んでいただくための入口になればと考えている。</p>
議長	<p>市民への発信は、こういった手段を使うのか。</p>
介護保険課副主幹	<p>市のホームページや広報もタイミングが合えば掲載し、広く市民に周知していきたいと考えている。</p>
議長	<p>他に意見はあるか。</p>
松本委員	<p>外国人職員の採用について、入間市と隣接している青梅市や瑞穂町の方が賃金が高いので、人材が都内に流れている傾向があるかと思う。入間つつじの園で、外国人労働者を受け入れていると思うが、実態を教えてください。</p>
吉田委員	<p>入間市内の特別養護老人ホームでは、外国人の採用が進んでいると思われる。現在、入間つつじの園でも、６名のミャンマー国籍の外国人の方が働いている。多い施設だと１６名くらい働いているような話もあるため、今後は外国人の力が必要不可欠となるのではと感じている。</p> <p>また、外国人の採用については、特定技能外国人を取り扱っている事業</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>者頼りになる。欲しい人数を依頼すると比較的揃う。国内だと3か月、外国から直接採用だと6か月というのが最低必要な期間のため、先を見て採用をしている。特定技能外国人の方に関しては、任期为5年。日本で働く方が給料が安定しているため、希望者は多いが、5年すると帰国する方もいる。5年後に採用が途切れるので移行して採用を続ける。業者にもよると思うが、一人あたりの紹介料は、結構な金額になる。おそらく施設の交渉次第の金額になっているのではないかとと思われる。特定技能外国人の業者のサポート体制によっても金額が変わると思うので、何社か見積りを取りながらやっている。比較的外国人の方が採用は早く決まる。実際に働いている外国人職員は、若く就業意欲が高いため、資格取得も前向きな職員が多い。それを見て周りの日本人職員が触発されている部分もあるため、外国人採用はマイナスなイメージを持つ方も多くいるかと思うが、入間つつじの園の場合は、外国人の方が入ってくれたことによって、職場が明るく前向きになっていると感じている。</p>
介護保険課副主幹	<p>他の事業所より外国人雇用の方法について聞きたいという話は市にも入っている。また、入間市老人福祉施設施設長会でも外国人の採用について報告を受けている。横断的に情報収集したものを他の事業者にもフィードバックできるよう資料3の今後の方向性(4)に記載したような事業所との情報交換・情報提供の強化ということを考えている。</p>
議長	<p>人材についての話が出たが、入間市シルバー人材センターでは何か意見はあるか。</p>
高山委員	<p>シルバー人材センターでも人手不足がある。会員の中でも高齢化が進み、実際に就業している方が80歳を超えていることもある。60代もしくは70代前半の方は仕事を選ぶため、なかなか就業につながらない傾向がある。利用者については、介護保険サービス以外の家庭の手伝いを希望する方が多く、希望がたくさんある。しかしながら、人手不足や、この業務内容ではできないという会員が多く、マッチングができない状況が続いてい</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長 幡野委員	<p>る。人材確保については、市内にチラシを毎月千枚ずつ各委員会で配布して、利用者を増やしていくというような活動をしている。</p> <p>他にあるか。</p> <p>在宅介護の要である訪問介護のヘルパーが少ないと感じている。市で、初任者研修を開催するというのはすごく良いと思った。ヘルパーの依頼があっても希望の時間帯で対応できるヘルパーがいらないため、事業所の都合に合わせて計画を立てる状態になっている。そのため、介護の魅力というところを市として伝えていき、対応できるような形を取れていけばいいかなと感じた。</p>
議長 吉田委員 介護保険課副主幹 吉田委員	<p>他に意見はあるか。</p> <p>初任者研修の費用は、受講者負担になるのか。</p> <p>県から補助金が出るため受講者負担はない。</p> <p>法人としても資格支援制度を行っているため、県の補助金で研修費用の補助や、実務者を対象とした研修についても実施してもらえるとありがたいと思う。</p>
介護保険課副主幹	<p>初任者研修は、多くの市民に広く介護の仕事を知ってもらうことを目的とした研修のため、実務者のスキルアップや資格所得を目的としたものではない。ただ、介護従事者を対象とした実務者研修の支援についても課題であると思うため、今後検討していく。</p>
吉田委員 介護保険課副主幹 議長	<p>年齢制限はあるのか。</p> <p>特にない。</p> <p>他に意見がなければ次に移る。</p>
高齢者支援課副主幹 議長 宮澤委員	<p>次に３点目、入間市認知症アンケート調査報告書について事務局から説明願う。</p> <p>資料４ 入間市認知症アンケート調査報告書に基づき説明</p> <p>事務局からの説明に意見や質問があるか。</p> <p>資料に対して委員から出た意見を修正したり加筆したりする際のチェッ</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課長	<p>ク体制を伺いたい。最初に委託先の株式会社名豊から出された資料を市の方でしっかりチェックしていただきたい。先ほど申し上げた資料の不備をスルーした状態で送付されている。チェック体制がどうなっているのかを聞きたい。</p> <p>株式会社名豊で資料を作成後、修正依頼と修正した箇所の確認のやり取りを数回重ねてはいたが、それでもこのようなことになってしまっているというところは大変申し訳なく思っている。</p> <p>全体の資料を通して本日指摘のあった部分は修正をさせていただくが、改めて委員の皆様を確認をいただくということは考えていない。ただ、ホームページに掲載する以上は、市としても注意を払っていきたいと考えている。また、注釈を表記するかについては、市が行う他の調査結果の公表の仕方と整合を図りたいと考えている。</p>
議長	<p>認知症アンケートのところで他に意見はあるか。</p> <p>調査報告書P 8 問7の意見というのがたくさんあるが、地域包括支援センターの方等に、実際に手に取って見ていただくことは可能か。</p>
高齢者支援課副主幹	<p>認知症の相談を受けたり、認知症施策を積極的に推進する目的で、市内の各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置している。今回の認知症推進計画に関しては、市と認知症地域支援推進員で協議をしながら策定していく予定となっており、すでに地域包括支援センターには、調査結果を共有している。今後も情報共有をしながら進めていく。</p>
議長	<p>他に意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>以上で本日の議題を終了させていただく。</p> <p>～令和8年度第1回高齢者福祉審議会 終了～</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和8年6月30日</p> <p>議 長 の 署 名 小 池 佐 智 子</p> <p>議長が指名した者の署名 大 村 清</p>	